おおてみち

第80号

平成24年(2012年)7月1日
滋賀県立安土城考古博物館

開館二〇周年記念

湖の船が結ぶ絆

―天智天皇・信長の大船、そしてうみのこ―

琵琶湖は、多くの物と人が行き交う自然の運河として、日本の歴史文化の形成に大きな役割を果たしてきました。そして、その主役を担ったのが「船」です。

本展では、天智天皇、織田信長が琵琶湖に浮かべたという「大船」をキーワードに、船の担った役割を、出土資料、美術資料、歴史資料、民俗資料等を用いて辿ります。あわせて、現在の琵琶湖で活躍する観光船や学習船を通して、船の持つ可能性とその未来を考えます。

なお本展は、琵琶湖の船と船運の歴史をより幅広く知っていただくため、長浜市長浜城歴史博物館で開催する「湖の船が結ぶ絆―鉄道連絡船と蒸気船―」と連動し、あわせて、滋賀県立琵琶湖博物館、大津市歴史博物館においても、琵琶湖の船および港に関するテーマ展示を開催します。

主な展示資料（会期中展示替あり、◎は重文）

塩津港遺跡出土船形代（滋賀県教育委員会蔵）
信長大船復元イメージ模型（当館蔵）
丸子船関係船用具（滋賀県立琵琶湖博物館蔵）
太湖汽船関係資料（琵琶湖汽船株式会社蔵）
うみのこ模型
（滋賀県立琵琶湖フローティングスクール蔵）
木造弁財天坐像（宝巌寺蔵）
日吉山王祭礼図（大津市歴史博物館蔵）
◎安南渡海船額（日牟禮八幡宮蔵）

関連行事

＊博物館講座
◇全六回
（本紙四ページの「博物館の主な催し」中「夏展講座」をご覧ください）

＊湖上フォーラム
◇「天智天皇・信長の大船、そしてうみのこ」
開催日　七月一六日（月・祝）
会　場　琵琶湖汽船「ビアンカ」船上
料　金　四〇〇〇円（食事代含む）

＊沖島体験クルーズ
◇「琵琶湖はおいしい面白い」
開催日　一回目　七月二五日（水）
　　二回目　八月二二日（水）
会　場　船上および沖島
料　金　中学生以上三五〇〇円
　　小学生以下一五〇〇円

＊スタンプラリー
開催期間　七月一四日（土）～九月九日（日）
指定のスタンプ設置施設で4個以上のスタンプを集めて応募すると、抽選で「いにしえの湊めぐりクルーズ」ご招待他豪華プレゼントが当たります。詳しくはチラシ、ホームページをご覧ください。

塩津港遺跡出土　船形代

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会　調査整理課通信

平成二四年度の調査整理課事業

調査整理課では、発掘調査で出土した遺物を記録・検討し、写真・図面資料とあわせて遺跡の歴史性や地域性を評価して発掘調査報告書にまとめる整理調査を行っています。

今年度は、一〇か所以上の遺跡を対象としています。古墳時代の木製鐙が出土した東近江市蛭子田遺跡は、弥生時代から古墳時代の多量の土器や多様な木製品が出土しており、整理調査の中での新たな発見が期待されます。また、今年度末に報告書刊行を予定している調査としては、湖底・湖岸遺跡である大津市粟津湖底遺跡や草津市北萱遺跡・矢橋湖底遺跡、弥生時代から古墳時代の墳墓群である大津市宇佐山古墳群、鉄鉱石等が出土した高島市上御殿・天神畑遺跡があります。

これらの整理調査成果は、夏休みの七月二二日（日）と平成二五年二月一九日（日）に開催する整理室公開事業「あの遺跡は今！」でいち早く報告・公開します。出土品を使った調査体験もありますので、ご期待下さい。

常設展示通信

第一・第二常設展示室では、従来の常設展示に加え、随時テーマ展を開催しています。

◇第一常設展示室

「調理の考古学」

六月一日（金）～七月二〇日（金）

「可愛いの考古学」

七月二一日（土）～九月七日（金）

「琵琶湖の神秘・湖底遺跡」

九月八日（土）～一一月一六日（金）

◇第二常設展示室

「地獄の情景」

六月二九日（金）～八月三一日（金）

「お茶の文化史」

九月一日（土）～一〇月二六日（金）

＊あわせて、テーマ展講座も開催します。

柳遺跡出土　臼・杵

お茶挽き体験

収蔵資料紹介

◇赤野井湾遺跡出土　火錐臼（守山市）

人間が文明を発達させることができた理由はいくつか考えられますが、そのうち重要なものの一つが「火を扱えるようになったこと」ではないでしょうか。生活に欠かせなかった火起こしの道具は、もちろん遺跡の発掘調査で出土します。今回ご紹介するのは、守山市赤野井湾遺跡から出土した弥生時代後期～古墳時代前期頃（三～四世紀）の「火錐臼（ひきりうす）」と呼ばれる、火を起こす道具です。

赤野井湾遺跡出土　火錐臼

写真奥はスギ製で、大きさは長さ二二・一センチ、最大幅三・五センチ、最大厚一・三センチ、手前はイヌガヤ製で大きさは長さ八・七センチ、最大幅三・九センチ、最大厚二・一センチです。手前のものは小型で、しかも台座状の部分が作られている非常に珍しいタイプで、携帯用のものである可能性もあります。

古代人が火を扱うというと、多くの人が、両掌で棒を錐のように回して火を起こす姿を思い浮かべます。遺跡から出土するこの火錐臼にも、棒を押しつけて回したためにできた、内面の焦げた孔があいています。ですが、よく見ると、ただ孔があいているだけではなく、板の側面から、孔にかかるように切り込みが入っていることがわかります。実はこれが、火を起こすためにとても重要なのです。

板に棒を押しつけて回すことによって、木が削れて木屑がでます。その木屑が、この切り込みから下に落ちて一ヶ所に溜まり、内部に摩擦熱が蓄積されて火が起きるのです。よく誤解されますが、炎があがるのではなく、お灸のように木屑に火種が灯ります。

ところで、火錐臼は比較的多く出土しますが、回した棒の方は確実な資料はありません。形がシンプル過ぎて、判断材料がないのです。当館では、火錐弓と呼ばれる道具を用いた火起こし体験を実施していますが、これも現在神社などで行われている民俗事例から引用したものです。ただの棒を錐もみにして火を起こすよりは簡単ですが、それでも慣れなければ結構大変です。ぜひ当館で火起こしを体験して、古代の人々の苦労を実感してください。

（学芸課　阿刀弘史）

博物館の主な催し

		企画展示室	第１常設展示室	第２常設展示室
7月	１日（日）ミニ連続講座２「保良宮を探る」 13時30分～【有料】 講師：田中　久雄氏（大津市教育委員会） ７日（土）体験学習「織姫体験・ヨシでコースターを作ろう」 13時30分～【有料】 ８日（日）ミニ連続講座３「紫香楽宮を探る」 13時30分～【有料】 講師：大道　和人（当館学芸課） 15日（日）夏展講座１「琵琶湖の船の変遷をたどる」 13時30分～【有料】 講師：横田　洋三（公益財団法人滋賀県文化財保護協会） 16日（月・祝）湖上フォーラム「天智天皇、信長の大船、そしてうみのこ」 9時30分～ 基調講演：「今だから琵琶湖」 嘉田由紀子（滋賀県知事）【要予約・参加費】 21日（土）入門講座２－②「続日本紀を読む（紫香楽宮）」 13時30分～【有料】 講師：大槻　暢子（当館学芸課） 22日（日）あの遺跡は今　15 25日（水）文化財探訪２－①沖島体験クルーズ「琵琶湖はおいしい面白い」１ 主催：琵琶湖汽船　案内：大沼芳幸（当館副館長）【要予約・参加費】 27日（金）れい感博物館　17時15分～ ~29日（日） 29日（日）夏展講座２「秀吉と大津百艘船」 13時30分～【有料】 講師：杉江　進氏（大津市教育委員会）	7月14日（土）～9月2日（日） 第44回企画展「湖の船が結ぶ絆―天智天皇・信長の大船　そしてうみのこ―」	発掘調査速報展 最新の発掘調査情報を随時展示します。詳しくは、当館のホームページをご覧下さい。 6月1日（金）～7月20日（金） テーマ展「調理の考古学」 7月21日（土）～9月7日（金） テーマ展「可愛いの考古学」	6月29日（金）～8月31日（金） テーマ展「地獄の情景」
8月	３日（金）れい感博物館　17時15分～ ~５日（日） ５日（日）夏展講座３「鉄道連絡船と長浜港」 13時30分～【有料】 講師：太田　浩司氏（長浜市長浜城歴史博物館） 10日（金）れい感博物館　17時15分～ ~15日（水） 11日（土）ミュージアムコンサート　13時30分～ 12日（日）テーマ展講座４「地獄の情景」 13時30分～【有料】 講師：山下　立（当館学芸課） 18日（土）テーマ展講座５「ミニチュアの考古学」 13時30分～【有料】 講師：鈴木　康二（公益財団法人滋賀県文化財保護協会） 19日（日）夏展講座４「琵琶湖の王者　丸子船の世界」 13時30分～【有料】 講師：用田　政晴氏（滋賀県立琵琶湖博物館） 22日（水）文化財探訪２－②沖島体験クルーズ「琵琶湖はおいしい面白い」２ 主催：琵琶湖汽船　案内：大沼　芳幸（当館副館長）【要予約・参加費】 25日（土）子供考古学教室【要予約・参加費】 10時30分～ 26日（日）夏展講座５「琵琶湖運河計画」 13時30分～【有料】 講師：辻川　哲朗（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）			
9月	２日（日）夏展講座６「信長の琵琶湖戦略と大船」 13時30分～【有料】 講師：大沼　芳幸（当館副館長） ９日（日）テーマ展講座６「湖底遺跡」 13時30分～【有料】 講師：大沼　芳幸（当館副館長） 15日（土）入門講座３「仏像入門」 13時30分～【有料】 講師：山下　立（当館学芸課） 16日（土）テーマ展講座７「お茶の文化史」 13時30分～【有料】 講師：大槻　暢子（当館学芸課）		9月8日（土）～11月16日（金） テーマ展「琵琶湖の神秘・湖底遺跡」	9月1日（土）～10月26日（金） テーマ展「お茶の文化史」

おおてみち　第80号
平成24年（2012年）7月１日発行
編集・発行　滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311　滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678　TEL0748-46-2424
E-mail：gakugei@azuchi-museum.or.jp　URL：http：//www.azuchi-museum.or.jp